

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1990800011		
法人名	ルミナス株式会社		
事業所名	グループホームひかり昭和西条		
所在地	中巨摩郡昭和町西条2092番地		
自己評価作成日	平成24年9月12日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=19">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=19</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成24年10月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎月必ず1回は外出行事を行い、気分転換や四季を感じていただけるようにしています。また、お誕生日会や月に一度2ユニット合同で音楽会を行っています。納涼会やクリスマス会にはご家族の方々、近隣の方々にも参加頂き、交流を深めています。

事業所の本社は、他県に8箇所のグループホームを経営している。「ひとに光を！」という理念の基で、利用者一人ひとりが満足して生活出来る支援に心がけている。毎年、家族や職員を対象にアンケートを実施して、満足度アップに役立てている。食事は本社の共通献立であり、栄養面の安心が得られる。また、事業所毎に利用者の希望献立を取り入れる柔軟性もある。調理室からの食事の匂いが家庭的な雰囲気を漂わせている。平成20年に開所した平屋のゆったりとした事業所である。道路沿いに面した敷地内にはウッドデッキを挟んで2つのユニットがあり、農園の野菜や果物を見ながら、外気浴を兼ねてユニット間の交流が出来る。入浴は毎日提供している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

事業所名 グループホームひかり昭和西条

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(東)	ユニット名(西)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念として「ひとに光を！」を掲げ、利用者・ご家族・スタッフの3者にとって光ある環境を提供できるよう日々のケアの基本理念としています。	「ひとに光を！」を理念とし、利用者・ご家族・スタッフに光ある環境を提供できるよう心がけ、日々のケアをしています。	理念にもとづき、利用者・家族が満足出来る様なサービスを心がけている。小学校の運動会参加や事業所の納涼会に招待するなど地域との関わりを取り組み始めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	散歩や買い物に出かけた際、近隣の方々にはこちらから挨拶をするようにしています。	散歩や買い物に出かけた際、近隣の方々にはこちらから挨拶をするようにしています。	自治会に加入している。事業所への出入りは自由になっているので、近所の人が気軽に訪ねてくる。先日は、果物の差し入れがあった。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生の職場体験、専門学生の実習先としての受け入れや小学校の運動会の観覧を通じ、グループホームでの生活等を感じて頂けるように努めています。	中学生の職場体験、専門学生の実習先としての受け入れや小学校の運動会の観覧を通じ、グループホームでの生活等を感じて頂けるように努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	前回の会議より長いこと開催されていないのが現状でいち早く会議を開催したいと思っています。	前回の会議より長いこと開催されていないのが現状でいち早く会議を開催したいと思っています。	事業所の都合がつかず、今年はまだ開催されていない。運営推進会議開催の必要性は痛感している。	前回の会議の出席者の協力を得ながら、早く運営推進会議が開催出来る事を期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	随時、町の担当者へのホーム運営の状況や試み、新規利用者のアセスメント状況等について報告しています。先日も町主催の地域密着型運営会議に出席し、現状、課題等お話をさせて頂きました。	随時、町の担当者へのホーム運営の状況や試み、新規利用者のアセスメント状況等について報告しています。先日も町主催の地域密着型運営会議に出席し、現状、課題等お話をさせて頂きました。	介護用品対象クーポンの申請や、事故報告書の提出時などに担当者とは話し、地域包括支援センターは役場内にあり、利用者の事など気軽に相談している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月実施されているカンファレンスにおいて該当事例・考え方について検討・研修を行っており、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	毎月実施されているカンファレンスにおいて該当事例・考え方について検討・研修を行っており、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	職員に、身体拘束となる具体的な内容について周知している。細かい部分の拘束の捉え方についても、テーマを決めてカンファレンス時に職員全員で話し合っている。スピーチロックは難しく、職員一人ひとりの自覚が大切と考えている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月実施されているカンファレンスにおいて事例研修を行っています。また、日頃から利用者の傷・あざ等発見した際は発生理由の検証をし、防止に努めています。	毎月実施されているカンファレンスにおいて事例研修を行っています。また、日頃から利用者の傷・あざ等発見した際は発生理由の検証をし、防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	各研修会などの参加は、まだ限られた職員へとなってしまっています。	各研修会などの参加は、まだ限られた職員へとなってしまっています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約時、契約書・重要事項説明書の内容の説明を行い、随時不明な点や疑問点などを回答し、ご理解頂いた上でご入居頂いています。	利用契約時、契約書・重要事項説明書の内容の説明を行い、随時不明な点や疑問点などを回答し、ご理解頂いた上でご入居頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 東 )	ユニット名( 西 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	要望や意見は、管理者を含めスタッフが随時承り、対応可能な場合は即対応し、不可能な場合も適切にご説明させていただきます。	要望や意見は、管理者を含めスタッフが随時承り、対応可能な場合は即対応し、不可能な場合も適切にご説明させていただきます。	意見箱は設置してあるが、今までに意見はない。本社で家族に年2回アンケートを実施している。「外出が少ない」との意見があったが、家族に現状を知ってもらう事で、解決できると考え、近況報告を出したり、来訪時に細かく話をする様に心がけている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファレンスの場だけでなく、随時スタッフからの提案をして頂いており、反映しています。	毎月のカンファレンスの場だけでなく、随時スタッフからの提案をして頂いており、反映しています。	本社で、管理者以外の職員から給料面・人間関係・上司について・要望等のアンケートを取り、結果を管理者に戻している。日常的に備品購入や待遇面についても意見が出ている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、キャリアアップ制度を設け、管理者・スタッフが向上心を持ち日々のケアや能力向上に取り組める環境の整備を行っています。	代表者は、キャリアアップ制度を設け、管理者・スタッフが向上心を持ち日々のケアや能力向上に取り組める環境の整備を行っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各研修の案内の周知、カンファレンスにおいての学習資料の配布等によりトレーニングしていくことを進めています。	各研修の案内の周知、カンファレンスにおいての学習資料の配布等によりトレーニングしていくことを進めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は、様々な研修への参加を推奨しており、訪問診療や訪問看護、訪問マッサージ等を通じての情報交換を促す仕組みも整えています。	代表者は、様々な研修への参加を推奨しており、訪問診療や訪問看護、訪問マッサージ等を通じての情報交換を促す仕組みも整えています。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談受付の際よりご本人との面会を行い、人生史や今後の要望など可能な限り伺い、正確に把握するよう心がけ、できる限り、事前にホームを見学して頂いています。	相談受付の際よりご本人との面会を行い、人生史や今後の要望など可能な限り伺い、正確に把握するよう心がけ、できる限り、事前にホームを見学して頂いています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談受付の際に、ご家族にもお話を伺い、可能な限り今後のケアやご家族とのやり取りに役立たせて頂いています。	相談受付の際に、ご家族にもお話を伺い、可能な限り今後のケアやご家族とのやり取りに役立たせて頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受け付けた際は、担当のケアマネージャーやMSWからの情報も集めた上で、グループホームでのケアが必要であるか見極め、ご家族と相談させていただきます。また、必要に応じては、他のサービスの紹介を行い、問題解決が適切に実施されるよう心掛けています。	相談を受け付けた際は、担当のケアマネージャーやMSWからの情報も集めた上で、グループホームでのケアが必要であるか見極め、ご家族と相談させていただきます。また、必要に応じては、他のサービスの紹介を行い、問題解決が適切に実施されるよう心掛けています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	管理者をはじめ、スタッフ一同、利用者の残存能力や特技を把握し、相互支援しながらの共同生活をしています。	管理者をはじめ、スタッフ一同、利用者の残存能力や特技を把握し、相互支援しながらの共同生活をしています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(東)	ユニット名(西)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には、「スタッフにもできる内容と、ご家族しかできないことがある」ことを理解して頂けるよう説明し、共にご本人を支援していく体制を築いています。	ご家族には、「スタッフにもできる内容と、ご家族しかできないことがある」ことを理解して頂けるよう説明し、共にご本人を支援していく体制を築いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、ご友人、職場の同僚の方々などに、面会にお越し頂き、外出や外食の機会を積極的に設けて頂いています。	ご家族、ご友人、職場の同僚の方々などに、面会にお越し頂き、外出や外食の機会を積極的に設けて頂いています。	友達や家族の面会場所は、居室カリビングを使用するかは利用者に任せている。墓参りや、行きつけの美容院など馴染みの場所への外出は家族に対応してもらっている。趣味は把握し、継続出来る様に支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一般的な生活作業だけでなく、農作業等を含め利用者それぞれの役割を可能な限り持って頂けるよう、スタッフが適宜お願いをしています。	一般的な生活作業だけでなく、農作業等を含め利用者それぞれの役割を可能な限り持って頂けるよう、スタッフが適宜お願いをしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設へ移られた後も、ご家族や担当の方からのご相談は適宜応じるようにしています。	他の施設へ移られた後も、ご家族や担当の方からのご相談は適宜応じるようにしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の要望を聞き、ご家族と話し合いながら支援していけるよう努めています。	ご本人の要望を聞き、ご家族と話し合いながら支援していけるよう努めています。	改めて意向を聞くというよりも、普段の関わりの中で把握する様にしている。安心出来る声かけに心がけ、思いを汲み取る事を大事にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からだけでなく、担当マネージャーにこれまでのサービスの提供経過とその経緯等伺っています。	ご家族からだけでなく、担当マネージャーにこれまでのサービスの提供経過とその経緯等伺っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	業務の申し送りの際や日常生活時においても、利用者の状態の変化、様子を把握し、共有しています。	業務の申し送りの際や日常生活時においても、利用者の状態の変化、様子を把握し、共有しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントやモニタリングをカンファレンスの際の実施し、ご家族との話し合いにおいてケアの内容の決定をさせて頂いています。	アセスメントやモニタリングをカンファレンスの際の実施し、ご家族との話し合いにおいてケアの内容の決定をさせて頂いています。	本人・家族の意向を入れた計画書を作成し、スタッフの記入した実施状況を基にモニタリングし、カンファレンス時に全員で評価・再アセスメントする。その上で出来た計画書は再度家族に提示し、同意を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録に日々の様子やケアの内容等を記述しています。また、カンファレンス等においてもスタッフそれぞれが気づきやアイデアを話し合う体制が整っています。	ケース記録に日々の様子やケアの内容等を記述しています。また、カンファレンス等においてもスタッフそれぞれが気づきやアイデアを話し合う体制が整っています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(東)	ユニット名(西)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問看護サービスにより健康状態の把握に努め、筋力維持や拘縮予防のための訪問マッサージを導入しています。	訪問看護サービスにより健康状態の把握に努め、筋力維持や拘縮予防のための訪問マッサージを導入しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括支援センターや介護保険係、他事業所のケアマネージャー達と協力しながら、地域資源の活用の話し合いを随時行っています。	地域包括支援センターや介護保険係、他事業所のケアマネージャー達と協力しながら、地域資源の活用の話し合いを随時行っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診はご本人・ご家族の希望による医療機関にかかって頂いています。その他希望により、甲州リハビリテーション病院の医師に月2回往診にお越し頂いています。	受診はご本人・ご家族の希望による医療機関にかかって頂いています。その他希望により、甲州リハビリテーション病院の医師に月2回往診にお越し頂いています。	内科の往診医はいるが、入居前からのかかりつけ医の利用者もいる。皮膚科・整形・眼科などの専門科医への受診は家族対応が原則であるが必要時は職員も対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	甲州訪問看護ステーションより毎週金曜日に看護師にお越しいただき、健康チェックをしています。また、日々のケアの中での気づきを相談させて頂いています。	甲州訪問看護ステーションより毎週金曜日に看護師にお越しいただき、健康チェックをしています。また、日々のケアの中での気づきを相談させて頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	各医療機関の方々との入退院の際は、必ず情報交換の機会を設けて頂いております。	各医療機関の方々との入退院の際は、必ず情報交換の機会を設けて頂いております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族や担当医の方々との積極的な話し合いの場を設け、重度化や終末期への対応方針について協議を行っております。	ご家族や担当医の方々との積極的な話し合いの場を設け、重度化や終末期への対応方針について協議を行っております。	重度化した場合は、入居時に家族に話してある。ターミナルケアはしない方針であるが、ぎりぎり迄入居を維持した例もある。今も、ここで最期をという希望がある。訪問看護や医師との協力・連携を取りながら事業所としてできる限りの対応をしたいと考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時の対応、連絡方法は学んでおりますが、応急手当の研修は未だ実施できておりません。	急変や事故発生時の対応、連絡方法は学んでおりますが、応急手当の研修は未だ実施できておりません。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難、消防訓練、夜間想定訓練を実施し、地域の方々との協力関係作りを努めています。	避難、消防訓練、夜間想定訓練を実施し、地域の方々との協力関係作りを努めています。	訓練は年2回(春・秋)で、地震の避難訓練をこれから行う予定である。本社作成の災害マニュアルはあるが、夜間は勤務者2名なので不安である。近所との協力づくりも必要と理解している。	夜間を想定した避難訓練を実施し、今のマニュアルをより具体的な物に見直していく事を期待したい。また、隣近所の協力が得られる様な関係づくりを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎月のカンファレンスにおいて日々のケアや声かけについてスタッフに理解して頂いております。	毎月のカンファレンスにおいて日々のケアや声かけについてスタッフに理解して頂いております。	その人に合った言葉遣いを選択し、カンファレンス時に職員で統一している。個室に入る際は、声かけ・ノックなど利用者毎に方法を工夫している。書類は事務室で保管し、書庫には鍵がある。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名( 東 )	ユニット名( 西 )	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が可能な限りご自身の意思を表現できるような声がけを工夫し、思いや希望を汲み取れるよう心がけております。	ご本人が可能な限りご自身の意思を表現できるような声がけを工夫し、思いや希望を汲み取れるよう心がけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その日の様子により、比較的柔軟な対応を行っています。	その日その日の様子により、比較的柔軟な対応を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類の選択や、起床時の整容等は、できる限りご本人に行って頂けるよう支援しています。	衣類の選択や、起床時の整容等は、できる限りご本人に行って頂けるよう支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理専任の職員も含め、一人ひとりの趣向を把握し、味付け、盛り付け等工夫し、また、食事の前には、メニューを公表し、食事が楽しみなものになるよう努めています。テーブル拭きや下膳などできる利用者には積極的にお手伝いいただいています。	調理専任の職員も含め、一人ひとりの趣向を把握し、味付け、盛り付け等工夫し、また、食事の前には、メニューを公表し、食事が楽しみなものになるよう努めています。テーブル拭きや下膳などできる利用者には積極的にお手伝いいただいています。	共通献立であるが、「うどんが食べたい」「おすいとうが食べたい」等の希望で変更している。農園で採れた野菜を使って食事を作っている。食材を皮むき・切る・食器洗い・テーブル拭きなど出来る事は利用者が出している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事の摂取量は、介護記録等に都度記録し、全スタッフが把握できるようにしています。また、こまめに提供したり、お好きな物をお出して、一人ひとりの習慣を尊重しております。	水分・食事の摂取量は、介護記録等に都度記録し、全スタッフが把握できるようにしています。また、こまめに提供したり、お好きな物をお出して、一人ひとりの習慣を尊重しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声がけ誘導や介助により口腔ケアをして頂いております。	毎食後、声がけ誘導や介助により口腔ケアをして頂いております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツやリハビリパンツ等は可能な限り予備的な役割として活用し、スタッフによる声がけ誘導にて排泄できる体制を整えています。	オムツやリハビリパンツ等は可能な限り予備的な役割として活用し、スタッフによる声がけ誘導にて排泄できる体制を整えています。	出来る限りおむつは使用せず、一人ひとりの排泄記録を参考に排泄パターンを掴みトイレ誘導している。夜間のみポータブルトイレを使う利用者もいる。以前に、おむつからパンツ使用になった利用者もいた。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分・ヨーグルト等を摂取して頂いたり、体操や散歩を行い、便秘予防に努めています。	水分・ヨーグルト等を摂取して頂いたり、体操や散歩を行い、便秘予防に努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	希望の方は毎日入浴できる体制が整っています。	希望の方は毎日入浴できる体制が整っています。	往診日や訪問看護の日は午前中に、その他の日は毎日午後入浴している。個々の入浴希望時間は調整している。入浴嫌いな利用者は無理強いをせず、タイミングを見て勧めるなど、対応の工夫により、徐々に拒否する事が少なくなってくる。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(東)	ユニット名(西)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの生活習慣にあわせ、就寝時間や環境作りを支援しています。	利用者一人ひとりの生活習慣にあわせ、就寝時間や環境作りを支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容や副作用等、スタッフ一人ひとりが学習できる体制を整え、理解して頂けるよう努めています。	服薬内容や副作用等、スタッフ一人ひとりが学習できる体制を整え、理解して頂けるよう努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月1回以上の外出・外食行事には利用者から希望を伺い、実現できるよう努めています。	毎月1回以上の外出・外食行事には利用者から希望を伺い、実現できるよう努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人の協力しながら出かけられるよう支援している	ご本人の要望を聞き、ご家族と話し合いながら実現可能なことは、実施させて頂いております。実際に、ご自宅へ定期的に宿泊される方もいらっしゃいます。	ご本人の要望を聞き、ご家族と話し合いながら実現可能なことは、実施させて頂いております。実際に、ご自宅へ定期的に宿泊される方もいらっしゃいます。	天気の良い時は、事業所周辺を毎日午前中散歩している。ウッドデッキで外気浴が気軽に出来る。月に1回、普段は行けない様な季節を感じる外出やドライブ・外食などの機会を作っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本、金銭管理はホームで行っています。ご本人の希望があるときは、一緒に買い物に行き、購入して頂いています。	基本、金銭管理はホームで行っています。ご本人の希望があるときは、一緒に買い物に行き、購入して頂いています。ご本人でお金の管理をしている方もいらっしゃいます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は、利用者がご家族といつでも連絡が取れる体制を整えており、ご家族からのお電話も都度つないでおります。	電話は、利用者がご家族といつでも連絡が取れる体制を整えており、ご家族からのお電話も都度つないでおります。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は整頓され、歩行時に過度な障害物がないように配置されています。また、リビングから覗ける菜園においても四季に合わせて野菜を作ったりしております。	共有空間は整頓され、歩行時に過度な障害物がないように配置されています。また、リビングから覗ける菜園においても四季に合わせて野菜を作ったりしております。	居間や廊下・トイレ・浴室は、掃除も行き届き、季節の花が飾られ、ゆったりとした場所となっている。2つのユニットのリビングの外はウッドデッキでつながっている。そのベンチで外気浴をしながら、果物や野菜や花を眺めることが出来る。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでは適度なスペースがあり、独りになれたり共に過ごしたりが可能な配置になっております。	リビングでは適度なスペースがあり、独りになれたり共に過ごしたりが可能な配置になっております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、備え付けの家具は収納棚のみとなっており、その他の家財道具はお持ち頂いています。元々お住まいになられていた環境をそのまま持ってきても差し支えない空間を提供しています。	居室には、備え付けの家具は収納棚のみとなっており、その他の家財道具はお持ち頂いています。元々お住まいになられていた環境をそのまま持ってきても差し支えない空間を提供しています。	嫁入り道具を思わせる様な古いタンスを置いたり、思い出の写真を飾っている利用者もいる。身体状況に合わせてベッドや布団が使われているなど各居室がそれぞれ違っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・トイレ・浴室には手すりが設置されており、利用者が自然に活用いただけるように整備されています。また、トイレの位置もわかりやすいようにサインを設けてあります。	廊下・トイレ・浴室には手すりが設置されており、利用者が自然に活用いただけるように整備されています。また、トイレの位置もわかりやすいようにサインを設けてあります。		